

夏祭りのシーズン、でありたいところですが、  
花火、金魚すくい、夏の風物詩がデリート。  
せめて風鈴の音、蚊取り線香、  
リモート盆休みかな。  
早くコロナウイルスが収束します様に！

今回は関東支部で活躍されている  
協会会員をご紹介します。  
彼女とは5年前の2016年横浜パシフィコで  
『美と健康』について講演をしました。  
現在は東京都町田市の訪問看護ステーション  
『いしずえ町田』管理者として事業展開されています。

沖縄支部にも負けず関東支部のメンバーも  
パワーアップしておられます。  
このコロナ禍だからこそ  
必要とされるモノを見つけましょう。

『予防美容』という言葉を知ってますか？  
クレンジングと洗顔こそが肌を美しく導くキホンになります。  
今一度見直してみるのはいかがでしょう？  
ESTESSIMOより新商品です。  
①しわを伸ばして埋めるのを導く『目・口元専用美容液』  
②引き締めてリフトアップ肌を引き出す『濃密クリーム』  
明日を後悔しないためにぜひお試しを！

一般社団法人日本アピアランスセラピー協会  
代表理事 みきしま



イラスト:月与志  
<http://tsuyoshi-jp.com>



精神医療サポートセンター

訪問看護ステーションいしずえ町田

管理者 精神科認定看護師/公認心理師 **新田マリア**

医療は長い間、創傷や病気を治し、命を救うことを第一の使命としてきました。例えば交通事故に遭い、傷跡や色素沈着が残ったとしても、それらが治癒し、一定程度機能面が回復したら「治療終了」とするのが一般的ではないでしょうか。がん治療においても、放射線や化学療法に伴って外見上の変化が生じたり、病変部分の切除後にはボディーイメージの変化が伴います。

社会復帰にあたり精神的な苦痛が伴ったとしても、それを解決する術はありませんでしたし、問題と捉える医療関係者も少数でした。そこで筆者は、「外見ケアチーム」を設立し、以下の4本柱を軸に支援を展開してきました。

(詳細については医学書院より出版の精神看護2020.9月号をご参照ください)。

---

#### ①カバーメイク講座/カバーメイク外来

病気による皮膚変色やアザ・母斑・血管腫・白斑・事故の傷跡など「色」や「質感」に関することに対応

---

#### ②プレストケア

乳房疾患の外科的治療に伴う外見変化に対応。人工乳房や下着のコーディネート。

---

#### ③シニアメイクイベント「イキイキ健康メイク」

高齢者の健康寿命延長と自立支援を目標に、地域包括等と協賛してイベントを実施。

---

#### ④精神科デイケア「シンデレラ・メイクスクール」

精神疾患のある方へ、装うことを通じて社会的なつながりを育むこと、精神的な健康度を向上することを目的としたプログラム。

筆者は現在、訪問看護ステーションを起業し地域へと活動の場を転換しています。上記の活動を可能な範囲で継続しつつ、より地域に根ざした「アピアランスセラピー」を提供して行きたいと考えています。